

# 電力自由化と再エネの展望

**\*と き\*** 8月26日(土) 午後2時～4時半

入場無料／事前申込不要／受付開始：午後1時半（96名で受付終了します）

**\*ところ\*** 仙台市市民活動サポートセンター6F

駐車場なし 仙台市青葉区一番町4丁目1-3 電話022-713-3171



## 講師 竹村英明先生

広島生まれ。脱原発運動歴30年。自然エネルギー普及取組15年。衆・参の議員秘書、GPJスタッフなどを経験。現在は、イージパワー株式会社社長、緑茶会（脱原発政治連盟）代表、市民電力連絡会会長などなど。

発電事業、小規模再エネ事業のサポートと市民による電力小売事業を探求中。

電力小売り自由化が2016年4月に始まり、東北地方でも新電力と契約する家庭が増え、東北電力の2016年度第3四半期の決算では、収入が前年度より8%も落ち込んでいます。それだけ新電力に移行した家庭があるということです。

では私も切り替えようかと、どんな新電力会社があるのか気になります。

新電力は、携帯電話会社が携帯料金とセットで契約させるもの、再生可能エネルギー＝クリーンな電力を売りにする会社など、多種多様です。気を付けなければならないのが、契約解除しようとするとう違約金を請求する会社もあるということです。

電力小売り自由化の中で、発電単価を下げるために、仙台港に石炭・木材火力発電所を建設する(または計画中的)関西・四国の非常識な会社も出てきています。

そんな中で世界に目を向けると、再生可能エネルギー(自然エネルギー)が爆発的に増えています。しかし日本の政府と電力会社は自然エネルギーの連係量をあらかじめ定めて、自然エネルギーの増加を制限しようとしています。電力小売り自由化が進む中で、再生可能エネルギー(自然エネルギー)の発展の展望はいかに？

## 主催 NPOきらきら発電・市民共同発電所

《連絡先》

〒981-3215 仙台市泉区北中山3丁目17-12、きらきら発電事務局

電話・FAX 022(379)3777

<http://kirakirahatuden.com/>